

フィデューシャリー・デューティー宣言への 取組状況

2026年7月

目次

1. お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援	P2
(1) お客さまに寄りそった資産形成・運用のために	P2
(2) お客さまに寄りそった資産形成・運用のための取組み	P2
2. 最適な商品・サービスの提供	P3～P4
3. お客さまへの情報提供	P5～P6
(1) お一人おひとりにあわせたわかりやすい説明	P5
(2) 手数料に関する考え方	P6
(3) アフターフォローに関する考え方	P6
(4) 金融教育	P6
4. 利益相反の適切な管理	P7
5. お客さまの満足度を優先する態勢の整備	P8～P9
6. 人財の育成・確保	P10
7. お客さまの運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI	P11～19
【参考】顧客本位の業務運営に関する原則と取組状況の対応関係	P20

1. お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援

原則2・5・6

(1) お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援のために

- 横浜フィナンシャルグループは、「お客さまの豊かな人生」に貢献するとの経営理念にもとづき、お客さまの資産形成・運用にかかる業務について、真にお客さまのために行動いたします。
- そのため、当社グループは、高度の専門性と職業倫理を持つ金融のプロフェッショナルとして、誠実・公正に業務をおこない、お客さまの真の利益の実現に向け、お客さま本位の業務運営に取り組んでまいります。
- また、グループ各社については、本宣言の実践に向けた取組方針を定めるとともに、取組方針における具体的な取り組み状況を定期的に公表し、状況に応じて取組方針を見直してまいります。
- 当グループは、お客さま本位の業務運営への取り組みとして、「フィデューシャリー・デューティー宣言」を策定・公表しており、お客さまの資産形成・運用にかかる業務について、真にお客さまのために行動することを宣言しています。

[「フィデューシャリー・デューティー宣言」の詳細は、こちらをご覧ください。](#)

(2) お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援のための取組み

- 神奈川銀行では、お客さまの資産・負債状況や知識、経験および資産形成・運用の目的に照らし、お客さまのライフプラン等を踏まえた適切なポートフォリオを検討し、お客さまのニーズに沿った商品・サービスの提案をしております。
- お客さまの中長期的な投資利益に資する支援をおこなってまいります。

2. 最適な商品・サービスの提供

原則2・5・6

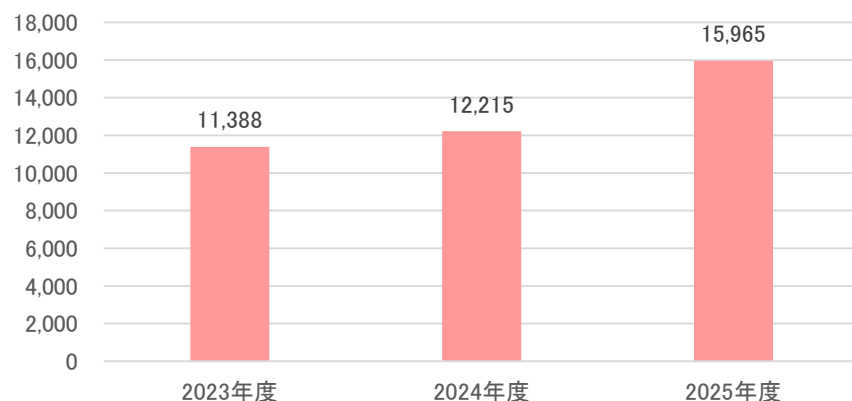
- お客様の投資目的やリスクの対するお考えに合わせ豊富な商品を取り扱っております。
- 商品の選定にあたっては、経済環境や市場動向を踏まえて、グループ会社の商品に関係なく、幅広い運用会社や保険会社等が取り扱う商品の中から、お客様のニーズに沿った商品を取り揃えています。なお、当行は金融商品の組成には携わっておりません。

投資信託残高および投資信託商品保有先数

- 投資信託残高は、引き続き株式市況の良好な推移と、お客様の資産運用に対する旺盛な需要が下支えとなりました。当行も、お客様ニーズに対応した投資信託の新商品の投入をおこなうなど対応した結果、販売状況は良好に推移しました。
- 投資信託の商品保有先数につきましても、お客様における資産形成の意識が増加したことにより、証券口座開設の動きは順調に推移しています。今後も長期的なお客様の資産形成に向け、積極的に取り組んでまいります。

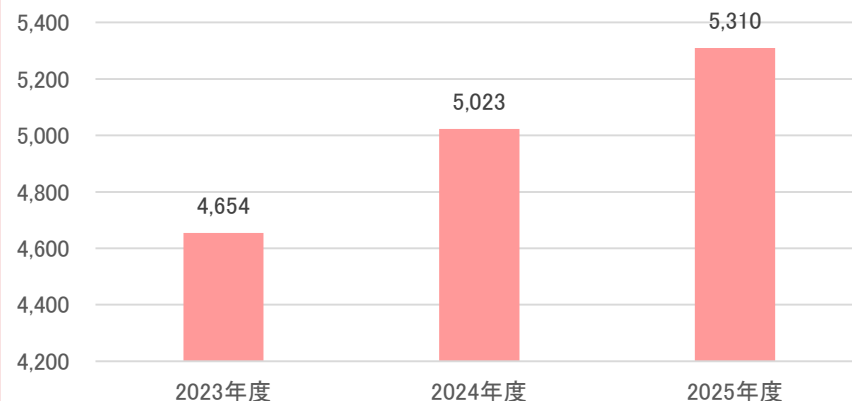
百万円

投資信託残高



先数

投資信託商品保有先数



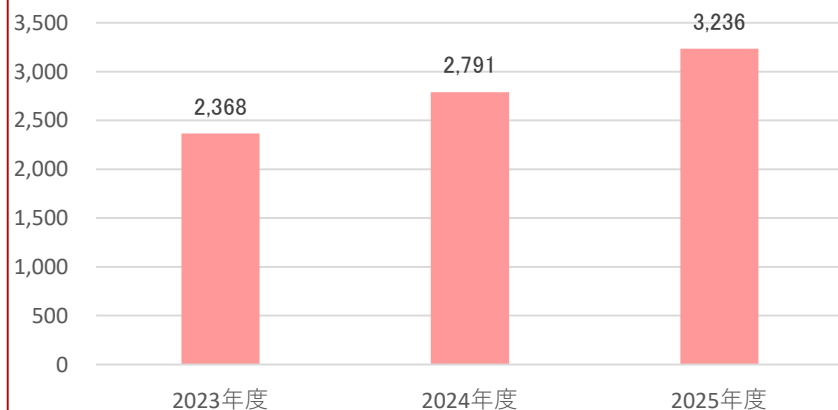
2. 最適な商品・サービスの提供

原則2・5・6

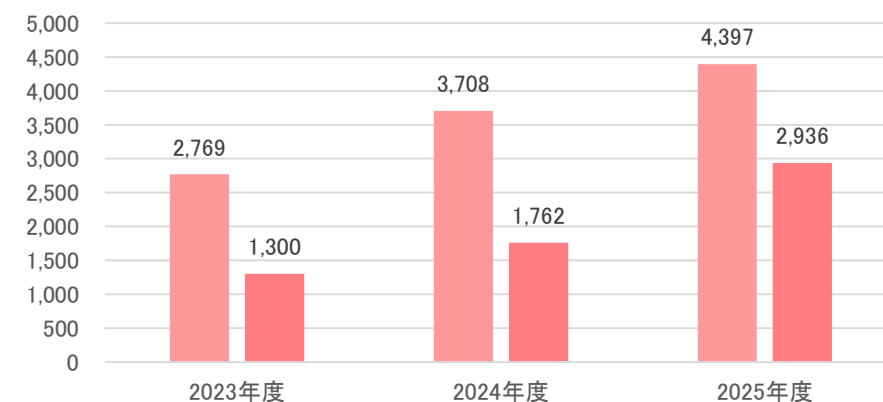
積立投信契約者数およびつみたて投資枠口座数・つみたて投資枠残高

- 積立投信利用先数については、2024年1月にスタートした新NISA制度の開始以降、「つみたて投資枠」を利用した積立投信を開始されるお客さまからの申し込みは堅調です。つみたて投資枠に含まれない通常の積立投信についても、同様に利用者数が着実に増加しています。
- つみたて投資枠の口座数および残高についても、同様に新NISA制度による追い風が続いており、2025年度についても口座数、残高とも順調に推移致しました。今後も長期的なお客さまの資産形成に向け、積極的に取り組んでまいります。

積立投信利用先数

口座数／
残高(百万円)

つみたて投資枠口座数・つみたて投資枠残高



3. お客さまへの情報提供

原則2・4・5・6・7

(1) 一人おひとりにあわせてわかりやすい説明

- お客さまに商品・サービスに関する情報および市場動向等を正確かつ迅速にお伝えしてまいります。
- お客さまへのご提案にあたっては、商品やサービス等にかかわる重要な情報について、投資経験の少ないお客さまにもご理解いただけるよう、各種パンフレットやITツールを活用するとともに、平易な用語や表現を用いて、分かりやすく説明してまいります。ポートフォリオ分析ツール「Wealth Advisor」や、各種パンフレット等を活用して、投資経験がないお客さまや投資経験の浅いお客さまにもわかりやすく説明し、お客さま一人ひとりのニーズやリスク許容度に応じた提案をおこないます。
- 複雑な機能を有する保険商品（外貨建て保険商品など）の販売にあたって、投資経験のないお客さまにはわかりやすい説明を心がけるとともに、ご高齢のお客さまに対してはご家族等の同席をお願いするなど、お客さまの投資経験やご認識状況に合わせてきめ細やかな対応をおこなっています。

[トップページ](#) / [ファンド一覧](#) / [ファンド詳細](#)
[比較・組合せ](#)
[注意事項](#)

脱炭素ジャパン
 運用会社：野村 スターレーティング

[Q | 相性の良いファンド](#)
[リスク・リターン分析](#)
[過去の出來事](#)
[積立チャート](#)
[運用レポート](#)

基準価額 チャート	基準価額（シミュレーション）	お申し込み金額	うち手数料等
分配金履歴	9,642 円（2022年09月20日時点）	1,000,000 円	31,945 円
評価情報 商品情報	お申し込み金額	概算金額	事前預時必要金額
購入 シミュレーション	1,000,000	1,000,000 円	1,000,000 円
解約 シミュレーション	コース ☐ 受取 ☒ 再投資	約定口数	約定金額
注意事項	購入時手数料 ☒ 含める ☐ 含めない 手数料を確認	1,003,998 口	968,055 円

[概算金額を表示](#)

「Wealth Advisor 購入シミュレーション例」

3. お客さまへの情報提供

原則2・4・5・6・7

(2) 手数料に関する考え方

- お客さまの投資判断に資するよう、各種手数料に関する情報提供などを通じて透明性を向上させてまいります。
- 金融商品の販売にあたり、金融商品の対価とは別に手数料をいただく場合があります。また、保険商品のように、お客さまにご負担いただく費用とは別に、金融商品の提供会社から販売代理店手数料等を受け取る場合があります。
- こうした手数料は、例えば金融商品のご提供にあたって必要となる、商品の開発・選定、提案資料、各種報告書・相場情報資料等の作成・送付、アフターフォローまで含めたコンサルティングサービスのご提供、お取引の執行に係る事務、サービス品質の向上に向けた研修、お客さまに安心してご利用いただけるシステムや店舗等のインフラ整備といった、物件費・人件費等を総合的に勘案して設定しています。
- 合理化・効率化によるコスト抑制に努めつつ、ご負担いただく手数料に対して、お客さまに満足いただけるよう、サービスの品質向上に努めます。
- お客さまからいただく手数料やその他の費用に関しましては、契約締結前交付書面や目論見書、重要情報シート等でご確認いただけるように努めており、金融商品のご提供に際して具体的な概算金額を提示する等、手数料について正しくご理解していただけるよう、わかりやすくご説明しています。

(3) アフターフォローに関する考え方

- お客さまに安心して運用商品をお持ちいただけるよう、きめ細かいアフターフォローをおこないます。
- 保有資産の状況や市場の動向等の情報提供を通じて、お客さまのそれぞれの資産形成・運用の目的に応じて長期的な視点にも配慮した適時適切なアフターフォローをおこなってまいります。

(4) 金融教育

- 金融・経済に対する理解を深めていただくために、金融リテラシー向上を目的とした金融教室、セミナー等を開催し地域社会との連携を深め、情報提供に努めてまいります。

4. 利益相反の適切な管理

原則3

- お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することのないよう、適切に管理してまいります。
- 商品提供会社から支払われる手数料やグループ会社の商品にとらわれることなく、品質の高い商品を選定し、お客さまにふさわしい商品を提供してまいります。

[神奈川銀行の「利益相反管理方針」の詳細は、こちらをご覧ください。](#)

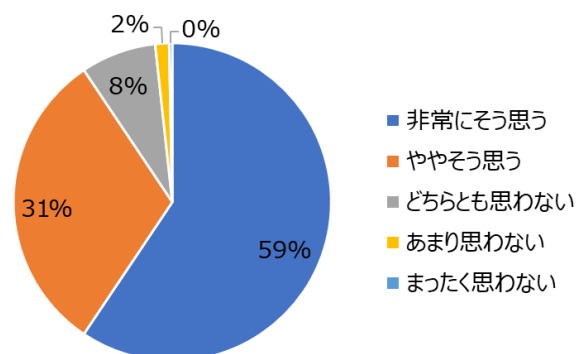
5. お客様の満足度を優先する態勢の整備

原則6・7

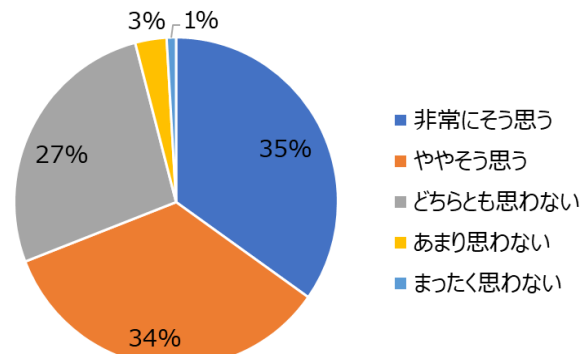
- お客様本位の適切な販売態勢を整備し、実効性を検証する仕組みの構築を図ってまいります。
- さまざまなチャネルを整備し、お客様の利便性向上に努めるとともに、安心してご相談いただける環境を整備してまいります。
- お客様の真のニーズや利益にかなう取り組みおよびお客様との信頼関係を踏まえた職員の評価体系を構築してまいります。
- 商品・サービスに対するお客様の満足度を定期的に計測し、お客様の声を商品の充実やサービスの向上に反映させる社内体制を構築してまいります。
- 当行との取引の満足度をはかるために、2026年2月に「お客様アンケート」を実施しております。「①神奈川銀行とのお取引の継続意向」および「②神奈川銀行とのお取引の推奨意向」については、①については90%、②については69%のお客様が「非常にそう思う」または「ややそう思う」を選択いただいておりますが、その他についてもいただいたお客様の声を把握し、お客様満足度の向上に努めてまいります。

○お客様アンケートの結果（抜粋）

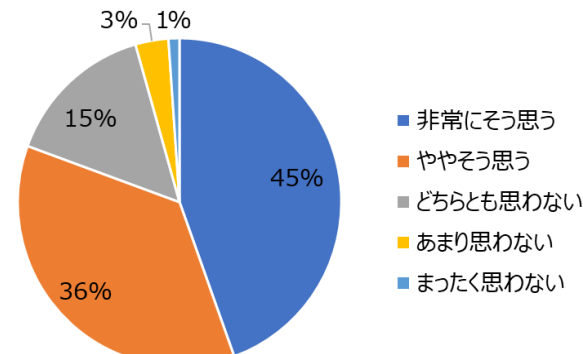
①神奈川銀行とのお取引の継続意向
（設問「今後も神奈川銀行を利用したいと思いますか。」）



②神奈川銀行とのお取引の推奨意向
（設問「ご家族やお知り合いにも神奈川銀行をおすすめしたいですか。」）



③神奈川銀行へのご相談・お取引の意向
（設問「金融機関への相談がある場合「神奈川銀行に相談しよう」と思いますか。」）

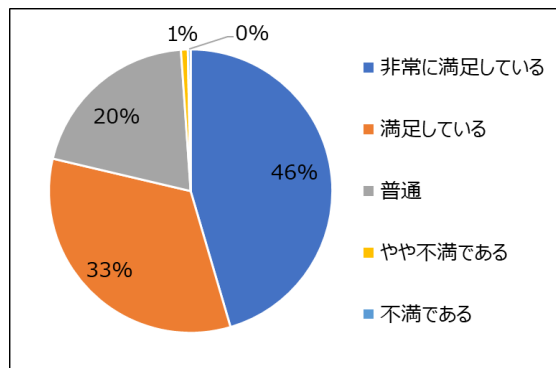
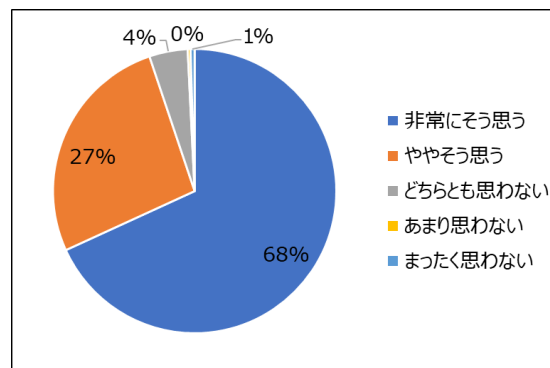
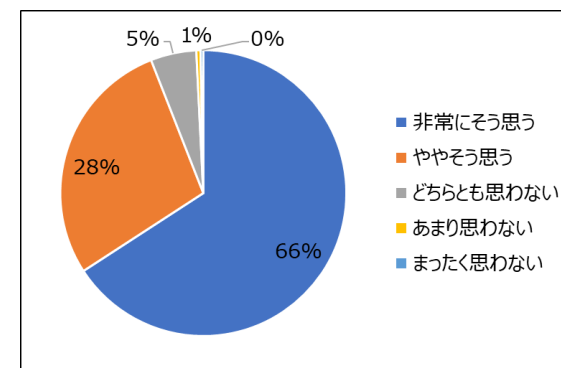


5. お客様の満足度を優先する態勢の整備

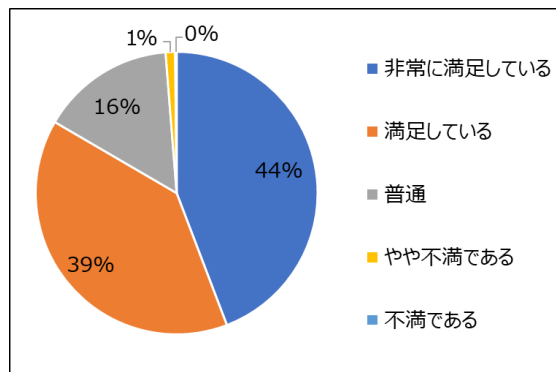
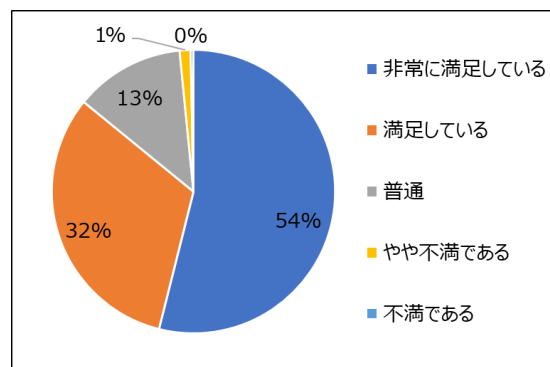
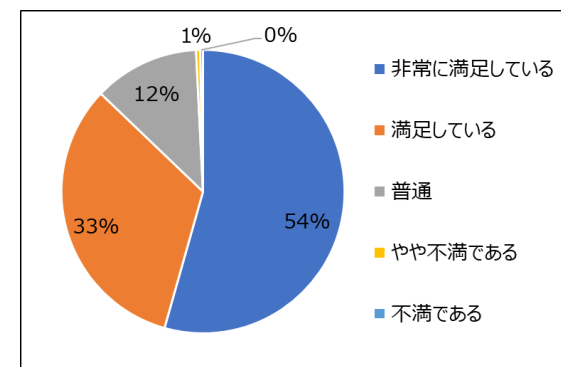
原則6・7

○その他のお客さまアンケートの結果(抜粋)

④当行の行員の提案力について

⑤お客さまのご希望に沿った対応ができて
いるか⑥お客さまに対し、わかりやすいご説明が
出来ているか

⑦サービス・商品の満足度について

⑧ご利用いただいている店舗に、満足い
ただけているか⑨担当者への相談への対応に、満足さ
れているか。

6. 人材の育成・確保

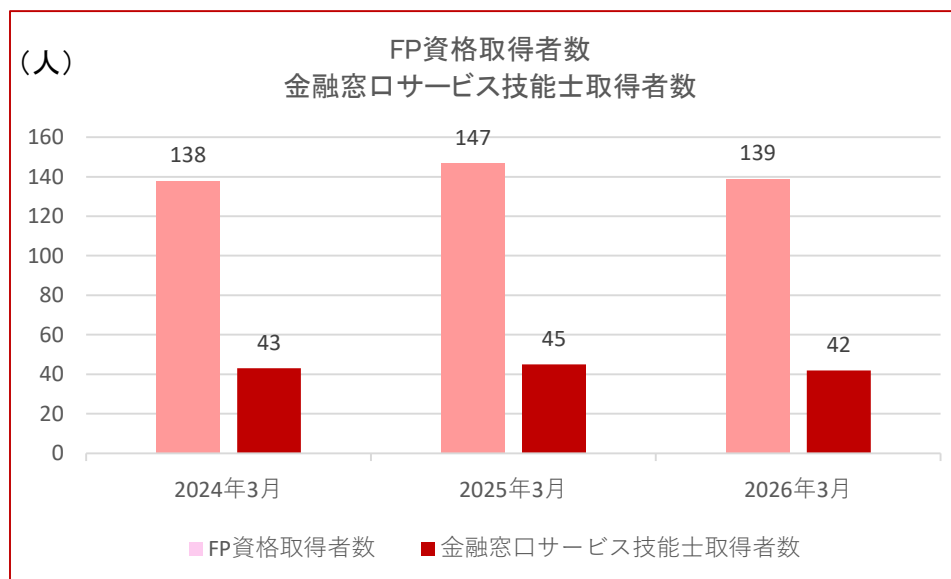
原則6・7

- お客さまへの最適な商品・サービスの提供を目指し、金融に関し専門性の高い人材を育成するとともに、お客さまの負託に応える強い責任感を涵養してまいります。
- お客さま本位の姿勢を徹底するとともに、専門知識の水準を向上させ、お客さまの負託に応える強い責任感をもつ人材を育成するための教育・研修体制を充実させてまいります。2026年度は、FP資格取得者数は139人となり、前年度から8人減少いたしました。引き続き、今年度も行員の金融知識向上につながる施策の実現に努めてまいります。

資格の取得状況

2026年3月末時点

FP資格取得者数	金融窓口サービス技能士取得者数
139名	42名



7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

投資信託の取扱い商品数

	商品数	割合
全商品	67	
毎月分配型	14	20.9%
バランス型	13	19.4%

投資信託の販売上位商品

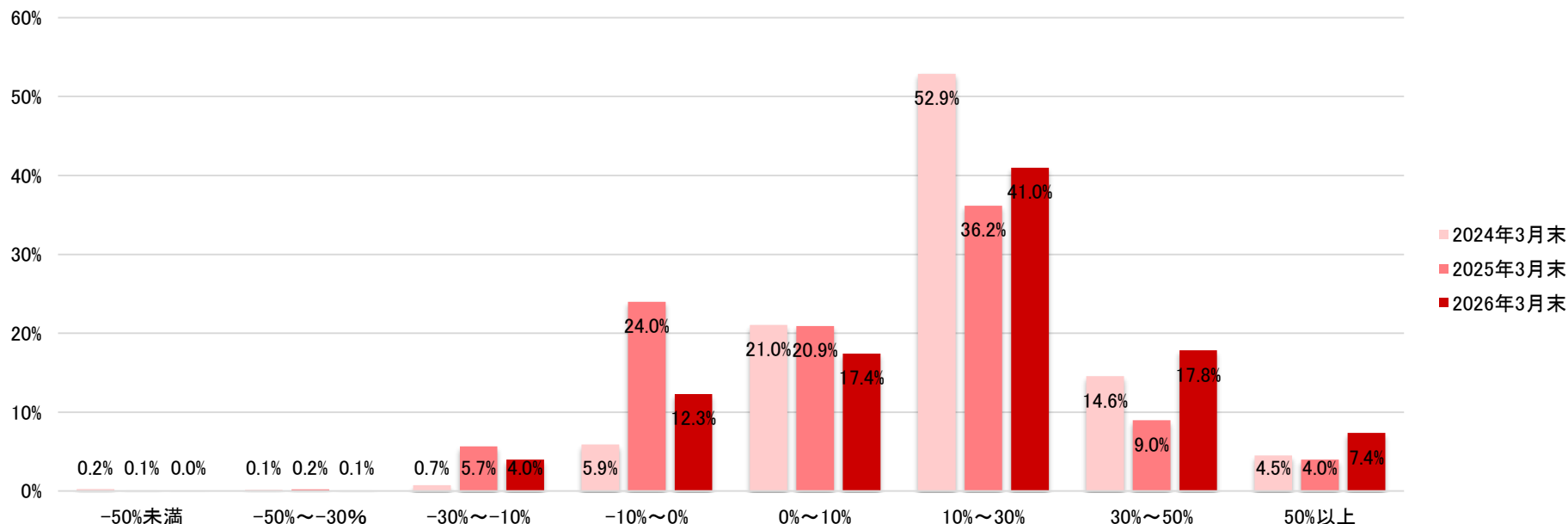
2023年度	商品名	運用会社
1位	米国株式配当貴族(年4回決算型)	野村アセットマネジメント株式会社
2位	東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド(毎月決算型)	東京海上アセットマネジメント株式会社
3位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド【愛称:健次】	三菱UFJ国際投信株式会社
4位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント株式会社
5位	新光US-REITオープン【愛称:ゼウス】	アセットマネジメントOne株式会社
2024年度	商品名	運用会社
1位	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和アセットマネジメント株式会社
2位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント株式会社
3位	フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド(成長型)	アセットマネジメントone株式会社
4位	米国株式配当貴族(年4回決算型)	野村アセットマネジメント株式会社
5位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド【愛称:健次】	三菱UFJ国際投信株式会社
2025年度	商品名	運用会社
1位	フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド(隔月決算型)	アセットマネジメントone株式会社
2位	あおぞら・日本株式アラインメント・ファンド【愛称:まくあき】	あおぞら投信株式会社
3位	東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド(毎月決算型)	東京海上アセットマネジメント株式会社
4位	ジャパン・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
5位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

- 基準日時点で、運用損益がプラスとなったお客様の比率は、2024年3月末93.0%、2025年3月末70.1%、2026年3月末83.6%となりました。
- 運用損益の区分別では「10%～30%」が41.0%と一番高い割合となりました。
- 多くのお客様の運用損益がプラスとなっておりますが、引き続きお客様への適切な情報提供やアフターフォロー活動を続けてまいります。

○投資信託の運用損益別顧客比率（2026年3月末）



基準日 各年3月末
 分子 基準日時点の評価金額＋累計受取分配金額（税引き後）＋累計売付金額－累計買付金額（含む消費税込の販売手数料）
 分母 基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外
 基準日時点の評価金額

7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リスクとリターン(2023年度)

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
①	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	20.90%	22.18%
②	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
③	米国株式配当貴族(年4回決算型)	0.99%	16.97%	17.54%
④	新光US-REITオープン	2.34%	18.42%	7.66%
⑤	ジャパン・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.37%	18.43%	10.04%
⑥	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	21.46%	3.68%
⑦	たわらノーロードバランス(8資産均等型)	0.14%	10.00%	8.12%
⑧	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	5.52%	3.47%
⑨	たわらノーロード日経225	0.14%	17.03%	15.75%
⑩	次世代モビリティオープン(為替ヘッジなし)	2.46%	25.57%	20.84%
⑪	米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)	2.26%	15.47%	16.06%
⑫	たわらノーロード先進国株式(為替ヘッジあり)	0.22%	16.57%	10.23%
⑬	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.24%	9.94%	7.87%
⑭	MHAM J-REITインデックスファンド毎月決算型	1.05%	15.12%	2.16%
⑮	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.25%	3.81%	-1.10%
⑯	たわらノーロード新興国株式	0.19%	17.97%	7.56%
⑰	MHAM 米国好配当株式ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなし	2.59%	15.70%	16.98%
⑱	ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.50%	17.20%	11.20%
⑲	インデックスファンド225	1.01%	17.02%	15.33%
⑳	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.59%	35.86%	11.09%

残高加重平均(■)

1.82%

12.19%

16.67%

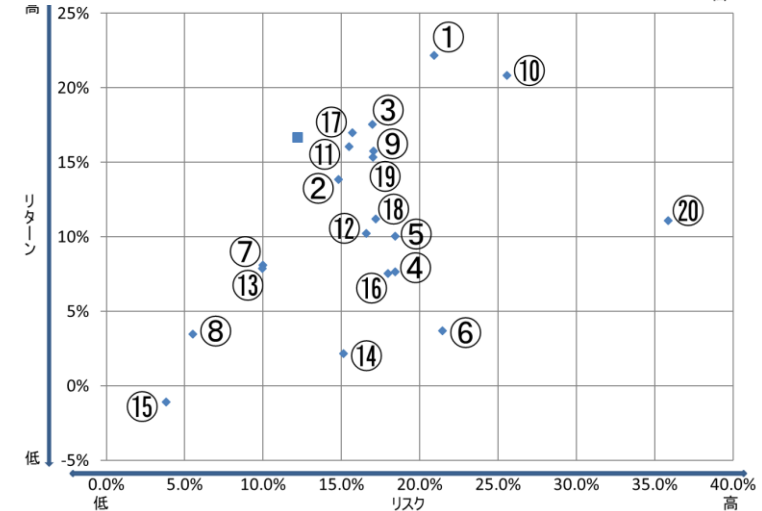
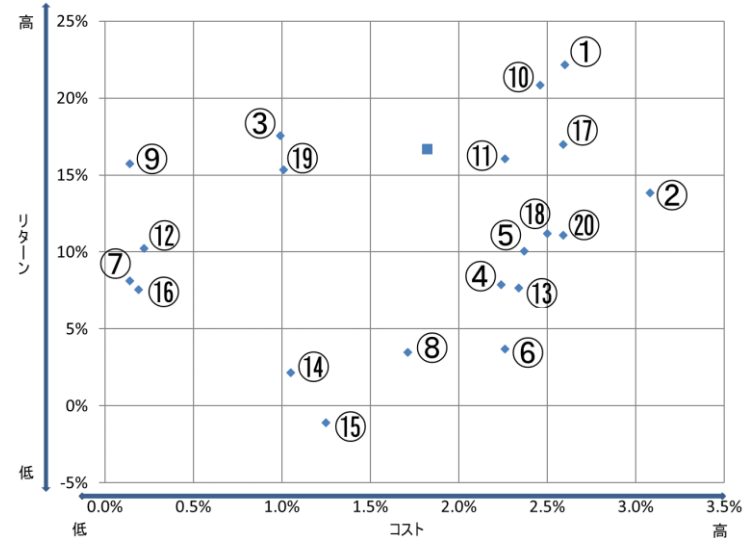
基準日 2024年3月末

対象 2024年3月末時点で、設定期間5年を超えるファンド

コスト 販売手数料／5+信託報酬

リターン 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

リスク 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

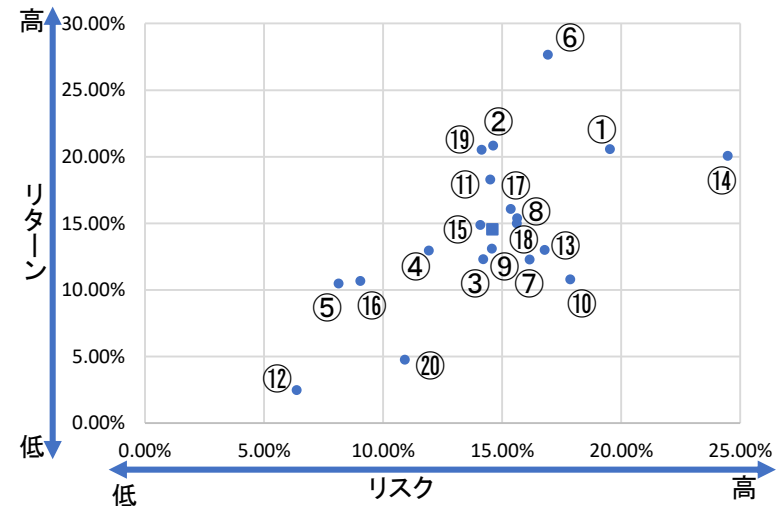
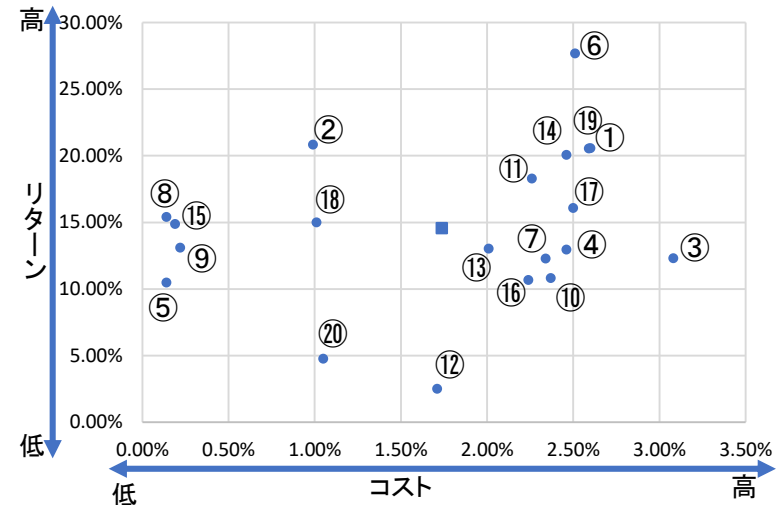


7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リスクとリターン(2024年度)

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
①	グローバルロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	19.53%	20.57%
②	米国株式配当貴族(年4回決算型)	0.99%	14.62%	20.83%
③	グローバルヘルスケア・バイオファンド	3.08%	14.21%	12.31%
④	東京海上世界モノポリー戦略株式ファンド(毎月決算型)	2.46%	11.92%	12.96%
⑤	たわらノーロードバランス8資産均等型(再投資)	0.14%	8.14%	10.48%
⑥	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	2.51%	16.92%	27.66%
⑦	US-REITオープン	2.34%	16.15%	12.28%
⑧	たわらノーロード日経225(再投資)	0.14%	15.63%	15.39%
⑨	たわらノーロード先進国株式為替ヘッジあり(再投資)	0.22%	14.57%	13.09%
⑩	ジャパンロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.37%	17.86%	10.80%
⑪	米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)	2.26%	14.50%	18.29%
⑫	グローバルソブリンオープン(毎月決算型)	1.71%	6.37%	2.49%
⑬	ワールドリートオープン(毎月決算型)	2.01%	16.79%	13.01%
⑭	次世代モビリティオープン(為替ヘッジなし)(再投資)	2.46%	24.48%	20.06%
⑮	たわらノーロード新興国株式(再投資)	0.19%	14.09%	14.87%
⑯	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.24%	9.05%	10.67%
⑰	ニッセイワールドスポーツFB(為替ヘッジなし)(再投資)	2.50%	15.37%	16.07%
⑱	インデックスファンド225(再投資)	1.01%	15.62%	15%
⑲	米国好配当株式ファンド(毎月決算型) 為替ヘッジなし	2.59%	14.14%	20.53%
⑳	J-REITインデックスファンド毎月決算型	1.05%	10.91%	4.77%
残高加重平均(■)		1.74%	14.54%	14.61%

基準日 2025年3月末
 対象 2025年3月末時点で、設定期間5年を超えるファンド
 コスト 販売手数料/5+信託報酬
 リターン 過去5年間のトータルリターン(年率換算)
 リスク 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)



7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リスクとリターン(2025年度)

	銘柄名	コスト	リスク	リターン
①	グローバルロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	20.62%	13.91%
②	東京海上世界モノポリー戦略株式ファンド(毎月決算型)	2.46%	11.60%	14.52%
③	米国株式配当貴族(年4回決算型)	0.99%	13.57%	13.67%
④	たわらノーロード日経225(再投資)	0.14%	17.48%	13.78%
⑤	ジャパンロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.37%	19.03%	8.61%
⑥	グローバルヘルスケア・バイオファンド	3.08%	15.34%	9.70%
⑦	たわらノーロードバランス8資産均等型(再投資)	0.14%	8.40%	8.45%
⑧	たわらノーロード先進国株式為替ヘッジあり(再投資)	0.22%	13.17%	6.44%
⑨	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	2.51%	16.92%	11.87%
⑩	米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)	2.26%	14.34%	13.73%
⑪	たわらノーロード新興国株式(再投資)	0.19%	15.14%	11.08%
⑫	US-REITオープン	2.34%	16.16%	8.36%
⑬	グローバルソブリンオープン(毎月決算型)	1.71%	6.63%	3.79%
⑭	インデックスファンド225(再投資)	1.01%	17.48%	13.37%
⑮	たわらノーロード全世界株式(再投資)	0.11%	13.71%	17.44%
⑯	ワールドリートオープン(毎月決算型)	2.01%	15.56%	8.34%
⑰	次世代モビリティオープン(為替ヘッジなし)(再投資)	2.46%	23.13%	9.32%
⑱	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	2.04%	13.13%	20.54%
⑲	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.24%	9.47%	6.64%
⑳	ニッセイワールドスポーツFB(為替ヘッジなし)(再投資)	2.50%	15.14%	5.19%

残高加重平均(■)

1.71%

15.25%

11.54%

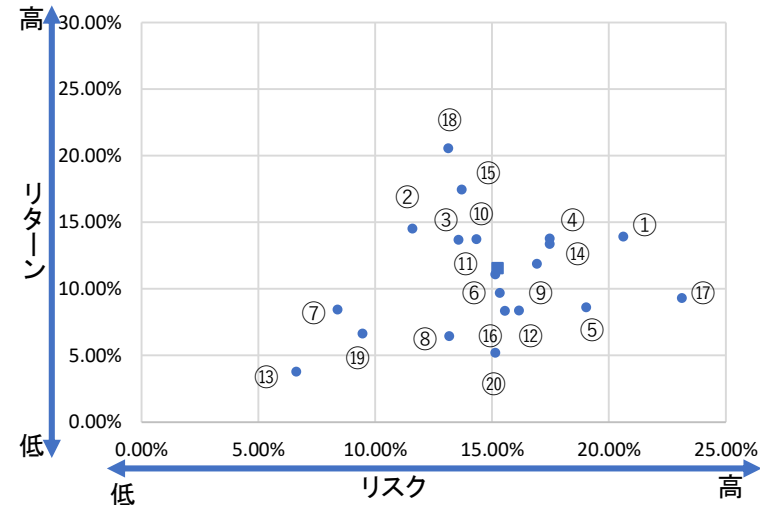
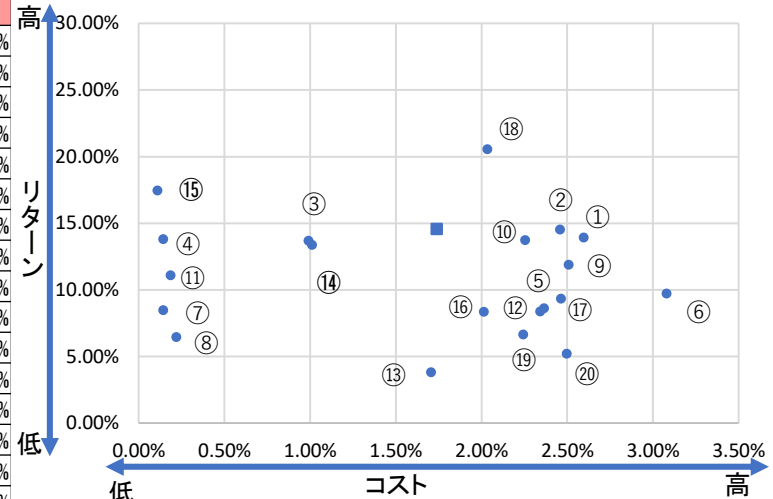
基準日 2026年3月末

対象 2026年3月末時点で、設定期間5年を超えるファンド

コスト 販売手数料/5+信託報酬

リターン 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

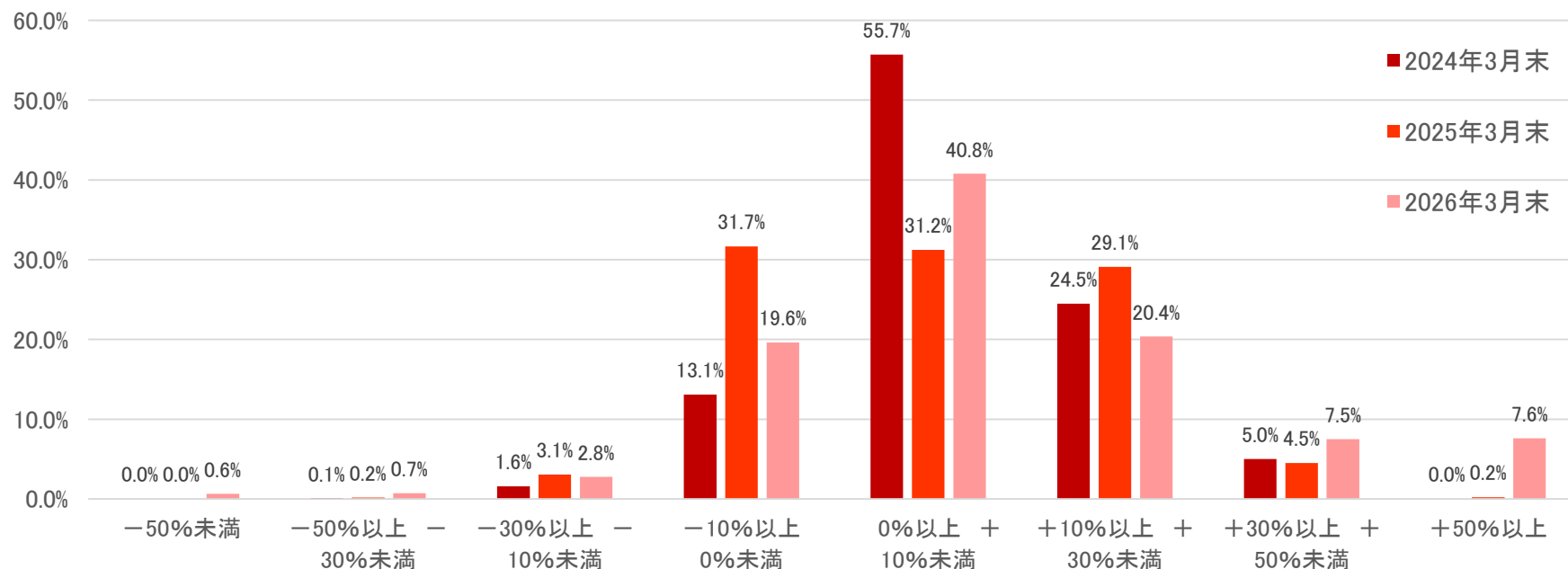
リスク 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)



7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

○外貨建保険の運用損益別顧客比率(2026年3月末)



【対象顧客】基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客様

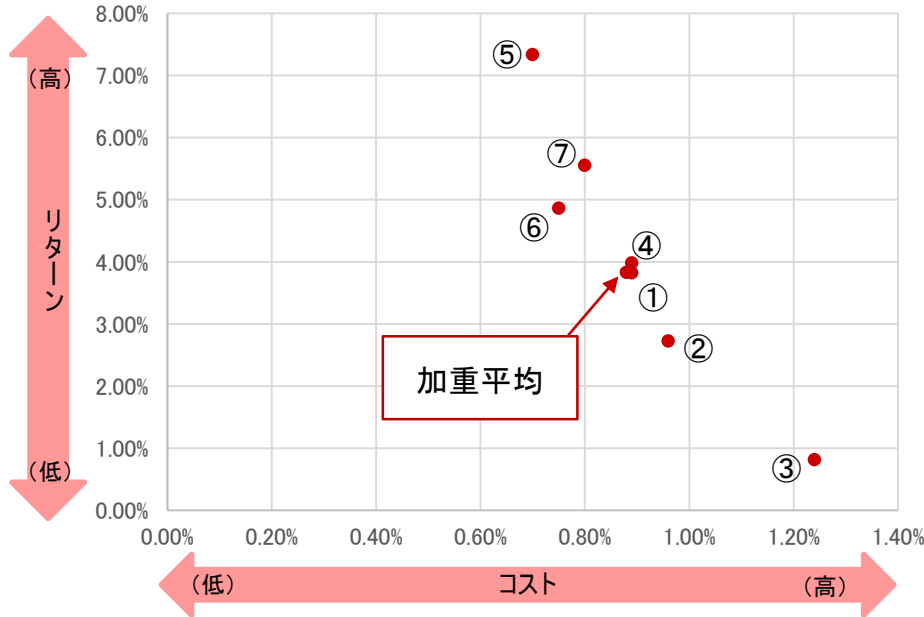
【対象契約】当行が保険募集を行った契約。ただし、基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)を除く

【運用評価計算】分子: 基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額) - 契約時点の一時払保険料(いずれも円換算)

分母: 契約時点の一時払保険料(円換算)

7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

外貨建保険の銘柄別のコスト・リターン(2024年3月末)



	銘柄名	コスト	リターン
①	プレミアシップ(外貨建)	0.88%	3.83%
②	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	0.96%	2.73%
③	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.24%	0.82%
④	プレミアプレゼント3	0.89%	3.99%
⑤	外貨建・エブリバディプラス(米ドル)	0.70%	7.34%
⑥	外貨建・エブリバディプラス(豪ドル)	0.75%	4.87%
⑦	ふるはーとJロードグローバルⅢ	0.80%	5.56%
残高加重平均		0.89%	3.83%

【対象契約】当行が保険募集を行った契約で保険契約開始から60か月以上経過した契約。ただし、基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)を除く

【コスト】保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用し算出

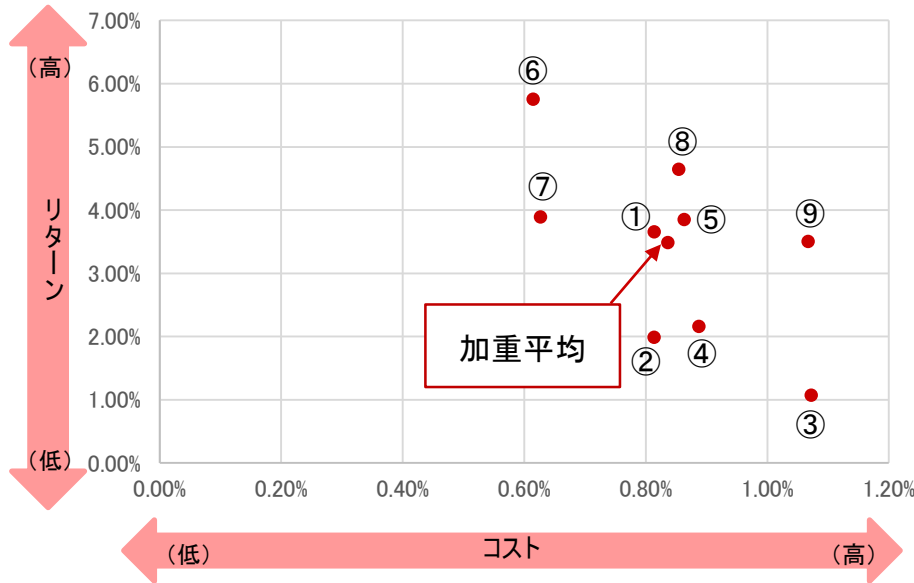
【リターン】(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均し算出

【保険商品としての特徴、保証性】

- ・外貨建保険は、保証と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約保険金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

外貨建保険の銘柄別のコスト・リターン(2025年3月末)



	銘柄名	コスト	リターン
①	プレミアシーブ(外貨建)	0.81%	3.66%
②	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	0.81%	1.99%
③	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.07%	1.08%
④	プレミアプレゼント	0.89%	2.17%
⑤	プレミアストーリー2	0.86%	3.85%
⑥	外貨エブリバディプラス米	0.61%	5.76%
⑦	外貨エブリバディプラス豪	0.63%	3.89%
⑧	ふるはーとJロードグローバル	0.85%	4.65%
⑨	ロングドリームGOLD3	1.07%	3.50%
残高加重平均		0.84%	3.49%

【対象契約】当行が保険募集を行った契約で保険契約開始から60か月以上経過した契約。ただし、基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)を除く

【コスト】保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用し算出

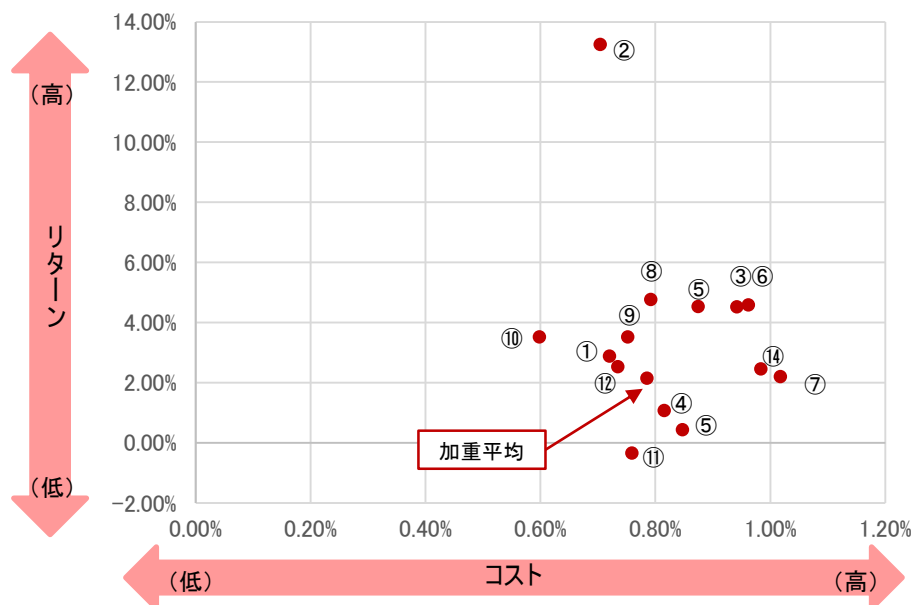
【リターン】(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均し算出

【保険商品としての特徴、保証性】

- ・外貨建保険は、保証と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約保険金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

7. お客様の運用成果に関する指標～比較可能な共通KPI

外貨建保険の銘柄別のコスト・リターン(2026年3月末)



	銘柄名	コスト	リターン
①	プレミアレシーブ(外貨建)	0.74%	2.52%
②	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	0.70%	13.25%
③	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	0.94%	4.52%
④	プレミアプレゼント	0.82%	1.07%
⑤	プレミアストーリー2	0.85%	0.43%
⑥	プレミアカレンシー3	0.96%	4.58%
⑦	プレミアプレゼント2	1.02%	2.20%
⑧	エブリバディプラス(米ドル)	0.79%	4.76%
⑨	エブリバディプラス(豪ドル)	0.75%	3.52%
⑩	えらべる外貨贈るタイプ(10回・米ドル)	0.60%	3.52%
⑪	えらべる外貨贈るタイプ(5回・米ドル)	0.76%	-0.34%
⑫	ふるはーとJロードグローバル	0.72%	2.88%
⑬	ふるはーとJグローバルⅡ	0.87%	4.53%
⑭	ロングドリームGOLD3	0.98%	2.45%
	加重平均	0.79%	2.15%

【対象契約】当行が保険募集を行った契約で保険契約開始から60か月以上経過した契約。ただし、基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)を除く

【コスト】保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用し算出

【リターン】(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均し算出

【保険商品としての特徴、保証性】

- ・外貨建保険は、保証と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約保険金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

顧客本位の業務運営に関する原則と取組状況の対応関係

神奈川銀行は、お客さま本位の業務運営を実践するため、金融庁が2017年3月に公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」(以下、「本原則」という)を採択し、取組方針を定め、その方針に対する取組状況を定期的に公表してまいります。なお、当行の取組方針の項目と本原則の対応状況は以下のとおりとなります。

当行の取組方針の項目	本原則
1. お客さまに寄りそった資産形成・運用の支援	原則2・5・6
2. 最適な投資型商品の提供	原則2・5・6
3. お客さまへの情報提供	原則2・4・5・6・7
4. 利益相反の適切な管理	原則3
5. お客さまの満足度を優先する態勢の整備	原則6・7
6. 人財の育成・確保	原則6・7